

ご取材のお願い

平成 25 年 2 月 25 日
宮城県漁業協同組合
公益財団法人 ヤマト福祉財団

宮城県七ヶ浜町 「七ヶ浜町水産振興センター」新設工事の起工式開催について

公益財団法人ヤマト福祉財団（本部：東京都中央区、理事長：有富慶二、以下：ヤマト福祉財団）「東日本大震災 生活・産業基盤復興再生募金※」の第 4 次助成先の一つである宮城県漁業協同組合では、平成 25 年 9 月の完成を目指す「七ヶ浜町水産振興センター」の起工式を、3 月 4 日(月)午前 11 時より執り行います。

海岸沿いに七つの集落があったことから名づけられたという七ヶ浜町は、仙台から東に約 20 km の宮城県中部に位置し、南は太平洋、東と北は松島湾と三方を海に囲まれ、起伏に富んだ景観や穏やかな気候にも恵まれた地域です。日本三景・松島の一角を成し、海水浴場やサーフスポットとしても広く知られています。

宮城県で唯一、ノリ種苗の生産を行ってきた七ヶ浜町の水産振興センターは、国内生産の最北端ノリ生産地として『みちのく寒流のり』のブランド力を高めるべく、種苗生産に取り組んできました。また、マコガレイの種苗生産およびヒラメやホシガレイなどの中間育成、放流事業を行っていました。しかし、東日本大震災の津波により全ての事業はストップし、養殖業を営む生産者、漁業者は大きな被害を受けています。

宮城県漁業協同組合は、地域の養殖、漁業再建に不可欠な、『ノリの種苗生産・品質改良』『魚類・貝類種苗の中間育成』などの機能を有する水産振興センターを、避難施設を備えた 3 階建てで再建することを計画いたしました。

ヤマト福祉財団では、養殖業生産者や漁船漁業者の漁家経営の再起を促し、七ヶ浜町の漁業振興を早期に改善するため、復興のカギともいえる七ヶ浜町水産振興センターの再建費用として総額 5 億 7000 万円の助成を平成 24 年 2 月に決定しました。



(被災直後の水産振興センター)



(建設予定地)



(完成予想図)

宮城県、東北の復興は途上にありますが、震災による被害を乗り越え、いち早く復旧・復興に取り組む本式典を何卒ご取材賜りますよう、お願い申し上げます。

本件に関する報道関係の皆様方からのお問い合わせは下記までお願いいたします。

宮城県漁業協同組合

担当：阿部・菅原 (0225-21-5732)

公益財団法人 ヤマト福祉財団

担当：早川・渡辺 (03-3248-0691)

「七ヶ浜町水産振興センター」新設工事起工式

1. 日時 平成 25 年 3 月 4 日（月） 午前 11 時開始
2. 場所 「七ヶ浜町水産振興センター」建設予定地
住所 宮城県七ヶ浜町花刈浜字館下 75-11
3. 主な出席者（敬称略）
 - （1）宮城県漁業協同組合 経営管理委員会会長 菊地 伸悦
 - （2）宮城県漁業協同組合 代表理事理事長 阿部 力太郎
 - （3）宮城県漁業協同組合 七ヶ浜町水産振興センター運営協議会会長 斎藤 吉勝
 - （4）宮城県 農林水産部長 山田 義輝
 - （5）七ヶ浜町 町長 渡邊 善夫
 - （6）公益財団法人ヤマト福祉財団 理事長 有富 慶二
4. 建物概要
鉄筋コンクリート造、地上 3 階建て
敷地面積 (3,162 m²)
延べ床面積 (1,842 m²)

施設概要

作業管理棟

3階 会議室 兼 避難所

2階 施設管理事務所

1階 作業・実験所

ノリ種苗（糸状体）培養棟

栽培種苗生産棟

※ 公益財団法人ヤマト福祉財団「東日本大震災 生活・産業基盤復興再生募金」は、東日本大震災で被災された地域の生活基盤の復興や水産業・農業の再生を支援することを目的に創設されました。平成 24 年 6 月 30 日をもって募金と助成の募集は終了させていただきました。募金につきましては、142 億円 3608 万 1360 円となったヤマトグループの「宅急便 1 個につき 10 円の寄付」をはじめ、広く一般から募金をたまわり、総額 142 億 8448 万 751 円となりました。助成につきましては、見える・速い・効果の高い支援を基本方針に国の補助のつきにくい事業や単なる資金提供だけでなく新しい復興モデルを育てるために役立てていくことを目指して、第 5 次までに助成対象 31 件に対し、総額 142 億 6600 万円の助成を行っています。詳細につきましては、ヤマト福祉財団のホームページ (<http://www.yamato-fukushi.jp/>) をご参照ください。